

徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

(1) 未知なる舞台！ みんなで築く「あわ文化」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績			令和3年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3		
①鑑賞機会の充実	○「はぐくみコンサート」 開催箇所数 H29：1箇所→R5：15箇所 (累計)	3箇所 (累計)	6箇所 (累計)	9箇所 (累計)	12箇所 (累計)	15箇所 (累計)	2箇所 (累計)	2箇所 (累計)	2カ所 (累計)	子育て世代を対象に、親子が一緒になって気軽に音楽を楽しめる「はぐくみコンサート」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本事業と連携している次世代育成イベント「おぎゃっと21」（例年5月開催）が開催されなかったため、中止とした。さらに、県南・県西において令和4年3月に開催を予定していたが、新型コロナ第6波の影響により、中止とした。	幼少期から文化芸術への関心を醸成するため、親子が集まる場を活用し、ミニコンサートや楽器体験教室を開催する。
②県民主役の文化活動	○「とくしま夏の音楽祭」 参加者数 H29→年間：2,200人以上	2,200人 以上	→			2,350人	0人	0人	あわ三大音楽をテーマに、県民主役の「とくしま音楽祭2021」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。	県民が文化芸術に触れる機会として、県内で文化活動する方々の発表の場として、県民主役の音楽祭を開催する。	
③文化活動による共生社会の実現	○障がい者芸術の全県展開 「共生アートプロジェクト」 H29→R2：創設		創設	推進	→		創設	推進	推進	<p>全県下を対象とした、障がい者芸術の理解促進イベントを実施した。</p> <p>(1)支援体制の充実 徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターと連携し、相談窓口設置、人材育成、ネットワーク作りを実施</p> <p>(2)障がい者の発表機会の確保</p> <p>①「障がい者アーティストの卵」発掘展の開催 日時：R3.9.1-5 場所：徳島県立近代美術館 ギャラリー 内容：障がい者アート作品を公募し、125点展示（715名来場）</p> <p>②PICFAアートの仕事展（アール・ブリュット展）の開催 日時：R4.2.10-27 場所：徳島県立近代美術館 内容：「障害福祉サービス事業所PICFA」（佐賀県基山町）で制作された ・利用者の作品展示 ・学芸員による展示解説 ・施設長によるゲストトーク を実施</p> <p>③パラリンピック聖火フェスティバル（出立式）での発表 日時：R3.8.14 場所：徳島県教育会館 内容：和太鼓の演奏（国府支援学校和太鼓部） 阿波おどり（さくら連）</p>	引き続き、 ・県内事業者からの相談対応 ・芸術文化活動を支援する人材の育成 ・関係者のネットワーク作り ・障がい者の発表の機会確保 ・舞台芸術の取組支援（ワークショップ・発表会の開催）を実施する。

徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

(2) 未知なる開花！ 根付き、育てる「人材・才能」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績			令和3年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3		
①「あわ文化」 発展への 顕彰の実施	○「徳島県文化賞」はじめ 県、財団による顕彰の 実施  H29実施→継続実施	実施	→				実施	実施	実施	徳島県、(公財)徳島県文化振興財団により表彰を行った。  ○徳島県による表彰 ・徳島県文化賞 阿波人形浄瑠璃振興会(人形浄瑠璃) (R3.11.4) ・阿波文化創造賞 平尾 成志氏(盆栽) (R3.11.10) ・徳島県表彰 丁山 俊彦(文芸) (R3.6.11) 松永 勉(美術・彫刻) (R3.6.11)  ○徳島県文化振興財団による表彰(R4.3.29) ・とくしま芸術文化賞 藤本 玲(邦楽) 四宮 久子(美術・洋画) 森 賢一(美術・工芸) ・とくしま芸術文化奨励賞 大高 翔(文芸) 篠原 美貴(洋舞)	引き続き、県内の文化芸術活動 の振興のため、功績のあった方々 を顕彰する。
②文化芸術団体 の活性化	○「文化アドバイザー」 派遣回数  H29→年間10回以上	10回	→				10回	0回	0回	県内芸術文化団体の文化活動を活性化させるとともに、新たな文化活動への 取組みを支援するため、各団体に文化アドバイザーを派遣する予定であった が、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。	引き続き、県内の文化芸術活動 の更なるステップを図るため、文 化芸術団体等に対し、様々な分野 の専門家から助言を行う。
③文化活動への 若者参加の 促進	○各分野で活躍する芸術家 による「中学生ワーク ショップ」の開催  H29→R1：開催	創設	推進	→			開催	中止	中止	11月に「第7回徳島県中学校総合文化祭」中央大会の開催イベントとし て、「ふれあいワークショップ」を開催予定であったが、新型コロナウイルス 感染症拡大の影響で中止となり、予定していたワークショップ「鈴木良治 氏を講師に迎えての『ふしぎな版画 リトグラフ』」は次年度に延期となっ た。	今年度11月に「第8回徳島県中 学校総合文化祭中央大会」の関連 イベントとして、「ふれあいワー クショップ」を開催する。 新型コロナウイルス感染症対策 を徹底して行い、鈴木良治氏を講 師として「ふしぎな版画 リトグ ラフ」を実施予定。

徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

(3) 未知なる創生！文化の力で「まちづくり」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績			令和3年度の具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3		
①地域づくり・地域団体への支援	○地域の文化資源の保存・継承等に取り組む団体への支援数（累計） H29:30事業→R5:150事業	30事業 (累計)	60事業 (累計)	90事業 (累計)	120事業 (累計)	150事業 (累計)	51事業 (累計)	84事業 (累計)	133事業 (累計)	県民の文化活動を促進する支援として、 ・あわ文化の担い手育成 ・あわ文化の継承・発展 ・第九100周年の成果の継承 ・地域で受け継がれる文化資源の再生と活用など に取り組む市町村や文化団体等に対し、「あわ文化創造支援費補助金」を交付した。  【令和3年度・補助実績】 補助率：2/3、補助額（上限）1,000千円/件 件数：49事業、補助金額：22,670千円	引き続き、その地域に根付いた文化資源を保存・軽症する活動を支援する。
②地域文化を通じた郷土愛・地域愛の醸成	○文学書道館等、拠点となる文化施設での講座開催回数 H29：125回→年間130回以上	130回以上	→				134回	75回	105回	文学書道館における文学や書道関係の講座のほか、阿波十郎兵衛屋敷における鑑賞講座や生け花などの文化講座、あわぎんホールにおける郷土文化講座や阿波木偶制作教室などを開催し、県民が文化に触れ、親しむ機会を創出した。 新型コロナウイルス感染症の影響による休館や開催自粛等による講座の中止を余儀なくされることもあったが、オンライン講座などを活用し、令和2年度に比べると開催回数は増加した。 ○文学書道館 53回 ○阿波十郎兵衛屋敷 14回 ○あわぎんホール 38回	引き続き、基本的な感染症拡大対策を徹底し、安心して利用できる環境を整備した上で、普及事業の実施を推進や文化活動の場の提供により、徳島の文化活動の継続・発展を支援していく。
③「徳島ファン」の活用	○クラウドファンディング等を活用した文化保存・継承活動 H29→年間1件以上	1件以上	→				1件	1件	1件	地域における文化財保護意識の向上を遍路道の保存継承活動を通じて図るため、「おもてなし遍路道ウォーク」を世界遺産登録推進協議会事業として実施した。	県民の文化財保護の機運を醸成するため、県民参加型の「札所寺院・遍路道」の保存継承活動に取り組む。

徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

(4) 未知なる融合！文化と経済の「好循環」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績			令和3年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針	
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3			
①文化資源の活用促進	○埋蔵文化財特別展示等の実施 H29→R1速報展、R2特別展示	展示 (速報)	展示 (特別)	展示	→		展示	展示	展示	「埋蔵文化財」の保存と活用を図るため、「レキシルとくしま」において、埋蔵文化財速報展を開催し、県民の埋蔵文化財への関心を高めた。 ○埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」の実施 ・期間：R3.6.8～7.11 ・来場者：808人	県内での発掘調査の成果等を県民に周知し、埋蔵文化財への関心を高めるため、引き続き速報展や講演会を実施する。	
②新たな文化の創造・発展	○徳島ならではの「eスポーツ」の全国規模の競技会・交流会の開催 H29→R4、R5開催				開催	→		-	-	-	「年齢」「性別」「国籍」「障がいの有無」に関わらず、誰もが参加できるeスポーツを活用した「にぎわいの創出」や「ダイバーシティ社会」の実現を図るため、以下のイベントを開催した。 ①「徳島県・湖南省友好交流10周年記念eスポーツ交流事業」 ・開催日：令和3年12月18日（土） ・会場：四国大学交流プラザ（徳島市寺島本町西）、阿南高専 ②「eスポーツステージとくしま」（徳島eスポーツ協会主催「闘電街（とうてんがい）3」と同時開催） ・開催日：令和4年2月26日（土） ・会場：徳島市東新町商店街 ・来場者：約1,200人（オンライン参加600人含む）	引き続き、オンライン大会の開催など、全国に先駆けた「eスポーツ」イベントを展開することにより、全国大会など大規模イベントの開催に繋げる取組みを展開する。
③文化による経済効果の発現	○徳島の文化資源や歴史・伝統をテーマとした旅行企画 H29→R1実施	実施	→					実施	実施	実施	○徳島市内の各船着場からいつでもクルーズ船を呼び出すことができるシステムを導入し、徳島市中心部から、吉野川を横断して阿波十郎兵衛屋敷等の文化観光施設へ向かう「ひょうたん島SUMMER TAXI」を運行した。 ・実施期間：R3.8.1～10.17、利用者数：458名 ○徳島ならではの伝統工芸品「遊山箱」と、人形浄瑠璃をセットにしたツアーを開催した。 ①実施日：R3.4.3（土）・4（日） ・会場：阿波十郎兵衛屋敷 ・内容：人形浄瑠璃特別公演、遊山箱の展示、遊山箱ランチ、遊山箱と和菓子の販売 ・参加者：4/3（197名）、4/4（109名） ②実施日：R3.9.25（土）・26（日） ・会場：阿波十郎兵衛屋敷 ・秋の遊山箱ランチ ・参加者：9/25（20名）、9/26（21名）	引き続き、徳島の文化資源や歴史・伝統をテーマとした企画を実施する。

徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

(5) 未知なる発信！「あわ文化」ブランドの創出

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績			令和3年度の具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3		
①戦略的な情報発信	○観光情報サイト 総アクセス件数 H29：523万件→R5：620万件	540万件	560万件	580万件	600万件	620万件	275万件	529万件	584万件	観光情報の充実を引き続き図るとともに、SNS等を活用し「阿波ナビ」の周知に積極的に取り組んでいる。 令和3年度においては、目標値をやや上回る結果となった。 理由として、とくしま応援割の拡大や新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きが考えられる。 また、県内の観光資源や各種イベントに関する情報発信はもとより、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により県内観光施設の休館状況などをまとめて掲載するなど、タイムリーに観光客のニーズに即した観光情報の提供を行ったことも理由の一つと考えられる。	今後も引き続き、情報発信力の向上に努めるとともに、常に観光客の目線に立った分かりやすい観光情報サイトづくりに努める。
②映像の効果的活用	○「あわ文化」の4K・8K、VR、5G等新技術を活用したコンテンツの制作 H29→年間3件以上	3件以上	→			4件	6件	5本	360度11Kカメラ等で農村舞台公演の撮影と農村舞台所有の襖絵のデジタル化を行い、コンピュータのプログラミングで自在に転換させて見せる「デジタル襖からくり」に投影する映像システムを阿波十郎兵衛屋敷に導入した。 また、吉野川の恵みがもたらした経済力を背景に発展した阿波藍、阿波おどり、阿波人形浄瑠璃等の「あわ文化」の魅力を4Kなど高精細映像で撮影するとともに、分かりやすく伝えるためアニメーションを活用した説明を入れた動画を作成した。  【制作】4K動画：3本、VR動画：2本	今後も、「あわ4大モチーフ」をテーマに、質の高い「デジタルコンテンツ」等を制作し、国内外に向けて魅力発信を行う。	
③グローバル化の加速	○「阿波おどり」「人形浄瑠璃」の海外公演及び指導者派遣回数（累計） H29：4回→R5：35回	15回（累計）	20回（累計）	25回（累計）	30回（累計）	35回（累計）	16回（累計）	21回（累計）	30回（累計）	新型コロナウイルスの感染拡大による渡航制限等により、海外公演・指導者派遣を行うことはできなかったが、本県が世界に誇る伝統文化「阿波おどり」「阿波人形浄瑠璃」の魅力をオンラインを積極的に活用して広く世界に発信し、「認知度向上」や「徳島ファン」の拡大を図った。  ・在外、在日公館と連携した阿波おどり教室、人形浄瑠璃公演・配信（6回）  ・現地連と連携した阿波おどり公演のライブ配信（3回）	今後も、各国の情勢を注視しながら、在外公館や関係団体と連携を図り、withコロナ時代に対応した、本県が世界に誇る伝統文化「阿波おどり」「人形浄瑠璃」の積極的な魅力発信を行う。